

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	健康増進総合システム（保守・運用）		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	がん対策・健康増進課		がん対策・健康増進課長 椎葉 茂樹		
会計区分	一般会計		施策名	I-10-2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本システムは、科学的知見に基づく正しい情報の国民への発信、自ら生活習慣の改善を行うことを支援するプログラム、及び保健師等の専門家の個別指導が受けられる双方向対話型プログラムの運用を行い、国民の糖尿病や合併症などの生活習慣病をよぼうすることを目的としたもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生活習慣の改善のための最新の科学的知見に基づいた情報提供、個人に合わせた専門指導を行うためのプログラム等の運用を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	85	85	36	36	36	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	85	85	36	36	36	
		執行額	80	80	18			
	執行率(%)	94.1	94.1	50				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	健康寿命を延伸するために良い生活習慣を実践している者の割合		成果実績	%	—	38.5	調査中	前年度以上
			達成度	%	—	—	調査中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	健康増進総合システムへのアクセス数		活動実績	件	2,371,928	2,436,217	2,361,539	前年度以上
			(当初見込み)		—	(2371928)	(2436217)	(2361539)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	科学的知見に基づく正しい情報の国民の発信を行う事業であるため、単位当たりコストの算出は困難である。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	サーバ機器等関連費	5	5					
	データセンター運用費	9	9					
	システム保守等費	17	17					
	システム改善費	5	5					
計	36	36						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
の 国 費 投 入 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	1年間に約240万回のアクセスがあることから、国民のニーズは高いと考える。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国民全員が容易に最新の情報を得ることができるよう、国(厚生労働省)のHPIにて掲載をすることが望ましいと考える。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	平成20年度に一般競争入札を行い、4年間の国庫債務負担行為による契約を結んでいるため、支出先の選定は妥当と考える。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	ハードウェア・ソフトウェア保守費及びデータセンター運用費等、必要最低限の経費のみの予算計上としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	競争性のある最低価格落札方式により、委託業者を決定していることから、妥当であると考え。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国民全員が容易に最新の情報を得ることを可能にするためには、HPIによる普及啓発を行うことが、最善であり、年間約240万回のアクセスがあるなど、実効性が高いといえる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	1年間に約240万回のアクセスがあることから、実績は高いと考える。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	平成24年度のアクセス数は前年度を下回ったが、これは契約の締結が遅れ4月及び5月にシステム稼働ができなかったためである。支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握しており、適正に執行している。データセンター運用、システム運用、保守及びシステム用機器賃貸・保守に要する36百万円については、平成24年4月1日から平成28年3月31日までの履行期間での国庫債務負担行為の複数年契約を締結しているところ。なお、平成24年度予算において、大幅な機器構成の見直しに伴うサーバ台数の削減を行っており、システム経費については、最低限必要なもののみへ見直しており、今後も引き続き適正に実施していくこととする。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	健康づくりに役立つ情報を提供するサイト「健康増進総合システム(e-ヘルス)」の保守・運用に係る経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	315	平成23年	285	平成24年	245

厚生労働省
21百万円

〔 委託業者への指導・管理 〕

【一般競争・委託】

A. 昭和リース(株)
13百万円

〔 ・データセンター運用(国庫債務)
・ハードウェア・ソフトウェア構築(国庫債務) 〕

【一般競争・委託】

B. スタートコム(株)
8百万円

〔 ・システム運用保守支援業務一式
(国庫債務) 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A昭和リース(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム機器賃借及び保守	ハードウェア・ソフトウェア及びデータセンター一式	13			
計		13	計		0
B.スタートコム(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
システム運用保守業務費	システム運用保守支援業務一式	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	昭和リース(株)	ハードウェア・ソフトウェア及びデータセンター一式	13	1	100

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	スタートコム(株)	システム運用保守支援業務一式	8	2	45